

行政視察報告書

平成31年 2月12日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員.....坂本 公明.....印 議員.....印
 議員.....原田てつよ.....印 議員.....印
 議員.....印 議員.....印

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】 鹿児島県 鹿屋市柳谷自治公民館

住 所	鹿児島県鹿屋市串良町上小原 4694-2
電 話	0994-63-1731
視察案件	「やねだん」地域振興・地域活性化について
期 日	平成31年 2月 5日 (火) 9時30分 から11時30分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	柳谷自治公民館・未来館（土着菌センター）
概 要	<p>*地域再生：過疎化が深刻な村であった鹿児島県鹿屋市串良市上小原柳谷地区「やねだん」の柳谷自治公民館長に豊重哲郎氏が、平成8年就任し、行政に頼らない「むら」おこしの22年間の取り組み、地域再生のヒントを学ばせていただきたく訪問。</p> <p>*平成9年のカライモ生産活動を皮切りに土着菌製造（平成13年）焼酎やねだん開発（平成16年）やねだん故郷創世塾開講（平成19年）等々の事業を手掛ける。</p> <p>*館長就任10年目には、住民の自主財源500万円に達し、村の122世帯の全世帯に対し、1世帯1万円のボーナスを配布。以後85歳以上の高齢者に毎年1万円のボーナスを支給。減少が続いていた人口も平成19年には増加に転じる。</p> <p>*自分が動かないと人は動かないをモットーとし、高校生クラブの結成に始まり都会に出た子供たちの声（手紙）を愛のメッセージ放送として有線放送で流す等数々のアイデアで、</p>

	<p>住民の心を動かし、住民の意識を変え、自主財源を作り限界集落を再生し活動していくリーダー豊重氏が、いつでもバトンタッチできると信頼を寄せる今村利郎氏と言う後継者の育成もしている。</p> <p>*平成14年の第8回日本計画行政学会「計画賞」最優秀賞の受賞を始めとして平成30年度「総務省ふるさとづくり大賞」最優秀賞を受賞する等数々の賞を受賞し、平成27年には、当時の小泉進次郎内閣府政務官が「やねだん故郷創世塾」の講師を務めると共に現場の視察。平成28年には当時の石破茂地方創生大臣が「やねだん」を訪問等、国からも注目されている。</p> <p>「感想」</p> <p>豊重哲郎氏の①自主財源の確保 ②住民総出 ③関心を惹きつける ④笑顔を生み出す ⑤やねだんに学べとの自信に満ちた語りかけに惹きつけられと共に、自らアイデアを生み出し、自ら動き、自分を心から愛し、他人を信頼できるリーダーの必要性を感じると共に人を頼るのでなく自ら名乗りを上げることの勇気をいただいた。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】 熊本県 熊本市幼保連携型認定こども園 第一幼稚園

住 所	熊本県熊本市中央区坪井4丁目20-22
電 話	096-344-6465
視察案件	幼保連携型認定こども園の取り組みについて 現地視察
期 日	平成31年 2月 6日 (水) 9時00分 から10時30分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	幼保連携型認定こども園 第一幼稚園
概 要	<p>*学校法人 第一学園は「幼保連携型認定こども園第一幼稚園」「幼保連携型認定こども園第二幼稚園」「幼保連携型認定こども園合志こども園」「杉並台幼稚園」「杉並台保育園」の5つの園を運営している。</p> <p>*明確な理念、情報開示なくして責任ある教育はあり得ないとの見地から、幼稚園教育、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等も十分踏まえたうえで、脳科学・脳育成学・心理学等の研修成果も取り入れた学園の教育理念として、理論と実践の体系である『しせい教育』を提示している。</p> <p>*『しせい教育』の理念の実践 (大切にしている6つのこと)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、体験；多くの体験を通じて、問題解決力の基礎を身に付けていく。 2、長所；自己肯定感、他者との調和・信頼・良質なコミュニケーション。 3、挨拶；自己表現の意欲、コミュニケーション能力、他者への配慮を育む。 4、めりはり；めりはりのある行動、けじめをつけた行動、子どもたちの行動力を育む。 5、考える；危険認識力、回避能力を養う。その行為の意味を理解して、行動できる。 6、運動；運動に親しむ心を育て、心身のバランスのとれた成長へとつながる。 <p>「感想」</p>

	<p>建物は、理念を実現するための手段と言い切る理事長 伊藤博士氏の言葉どりの素晴らしい工夫があちこちに見られる園舎は、年齢で仕切られることなく全てワンフロアで共育されている。給食調理室もガラス張りで、調理している様子を子どもたちがジッと眺めている様子もあった（食育の一環）</p> <p>「責任ある教育の実践」「輝く瞳を持った子供たちが、その輝きを増し続け、大きく育って倉ることを願っている」との言葉と共に第二幼稚園の園長である若き2代目は、こども園への移行時には、保護者・職員への丁寧な説明と理解を得るまで徹底して行った。3代4代に渡って登園を選んでいただいているの言葉は印象費残った。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

